

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月16日			
事業所名		公表日 2026年3月16日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	8	・人数に応じた活動内容や活動手順を事前に決めて、活動室のスペースを上手く活用している。 ・子どもの特性に合わせて部屋を変えたり、クラスの人数を分けて活動している点。 ・用途によって部屋を使い分けるなど工夫している。	・活動に使えるスペースが限られており、構造上難しいが空間にもっとゆとりがほしい。 ・母子活動や1日の利用人数に応じて対応しているが適切とはいえない。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	7	・欠員職員に対して、どういった対応をとっていくか全体へ向けての説明をしている。	・欠員職員が出た時の対応が遅く、迅速に動くことが課題。 ・事務量が多いため、事務員を配置するなど職員配置に見直しが必要だと思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	8	・老朽化に伴う施設整備に対して市と対応を検討できると良い。	・建物の老朽化が進んでいる。構造面を含め、管理者である所沢市との協議・対策が必要である(トイレスペースの確保やバリアフリー設計、プライバシー確保に向けた取り組み等)。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	3	・建物の老朽化があるが、清掃をこまめに入れて清潔に努めている。また定期的な換気をしている。 ・日々の掃除などで、清潔な環境や安全を皆で確認し合っている。 ・毎日掃除しているので、清潔に保たれていると感じる。 ・職員は努力している。	・現場の職員が掃除をしているが、清掃員を入れないと行き届かないところがある。(トイレの床など) ・空調の効きにくさ、老朽化による軋み等があり、日々確認し、配慮を行なっている。 ・手洗いやトイレは使い勝手が悪い。 ・雨漏りがあり快適とはいえないのではないか。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	3	・クールダウンで部屋を移動することがあり、使用できている。 ・職員全体で周知し、安全を確認している ・相談室の利用など工夫している。	・トイレを使用することもあるので、衛生面の観点からもう少し手軽にクールダウンできる場所があると良いと思う。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17	0	・半年に一度面談がある。	・もっと共有できる時間ができるとなお良い。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	6	・朝と夕方にクラス担任同士で打合せと振り返りを行っている。また終礼で何かあった際には報告できる環境がある。	・年3回の職員面談を実施しているが把握にとどまり改善に繋がっていないと感じる為、実行・改善案を出して協議していく必要がある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	2	・令和5年度に実施し業務改善に努めている。次年度にまた実施予定。	・令和5年度に実施し業務改善に努めている。令和8年度実施予定。 ・どちらともいえない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	0	・積極的に外部研修に参加している。 ・研修担当者を毎年選任している。	・全ての職員がいつでも気軽に研修を受けられる機会、制度が増えるよう改善してほしい。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	1		・適切かと問われると、見直しができる部分があると思う。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	1	・クラス担任とともに協議できている。	・かしの木学園で使用しているカリキュラムについては適宜見直しが必要であると感じる。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	・定期的にクラスごとの会議があるため、共有できている。	・定期的にクラスごとの会議があるため、共有できている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	2	・遠城寺式発達検査表や日々の支援記録を使用している。	・遠城寺式発達検査表以外のツールも検討していく必要がある。 ・どちらともいえない。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17	0		

の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	1	・毎日の振り返りと打ち合わせで行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	0	・クラスで行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17	0	・午後に個別活動を組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	0		